



2022 年度  
第 30 号

# 体育市民連帯 ニュースレター

大韓民国スポーツの

根本的変化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？

京畿道  
全国自治体初の  
スポーツ人権センター  
設置



韓国体育大学  
重量挙げ部コーチの  
ホッケースティック殴打…  
脳震盪重傷者まで



崔スクヒョン事件 2 年…  
涙ぐんだ遺族  
体育界の弊害と  
依然として戦っています



近代五種  
女子部の世代交代の  
希望が明らかに…  
世界選手権団体戦



学校の運動選手たち  
猛暑に見舞われた  
全国大会で  
夏休みは絵に描いた餅



## 01 聯合ニュース 2022.07.28

## 京畿道、全国自治体初の「スポーツ人権センター」設置



京畿道は28日、全国の自治体の中で初めて「スポーツ人権センター」を設置した。

道庁舎20階に開所したスポーツ人権センターには心理相談、スポーツ人権と関連した専門家3人が配置された。人権教育を担当するチョン・ソンヨン

(44)氏の場合、バスケットボール国家代表出身でもある。

センターはスポーツ人権侵害と不正を申告したり相談できる窓口を平日午前9時から午後6時まで運営する。申告内容は道内選手・指導者など京畿道関連内容でなければならないが、申告・相談者は道民でなくても可能だ。

専門家が相談、2次被害調査、法律・医療支援連携などを行い、通報者が希望すれば「訪問相談」も行う。センターは京畿道体育会、京畿道障害者体育会、道庁法務担当官・精神健康課などと協力体系を構築し、被害者のための法律および心理相談などを一括支援する方針だ。

スポーツ人権専門講師が現場に派遣される「訪問スポーツ人権教育」も遂行する。

センターはまた、公正な契約を通じた体育従事者の権益向上のため、年末までに生活体育指導者のための京畿道型標準契約書を用意する予定だ。

選手と指導者、非障害者と障害者選手別にスポーツ人権関連の細部実態調査も定期的に行う。

キム・ヒョンス京畿道文化体育観光局長は「今年6月スポーツ基本法施行でスポーツ人権も体育界従事者や選手だけでなく道民が共に享有する基本権利になった」とし「京畿道スポーツ人権センターがこのような時代の流れを先導しながらスポーツ人権の価値を広く知らせることができるよう努力する」と話した。

出典：<https://www.yna.co.kr/view/AKR20220728105300061?input=1195m>

## 02 ハンギョレ 2022.08.01

## 韓国体育大重量挙げ部コーチの「ホッケースティック殴打」…脳震盪重傷者も



韓国体育大生活館暴行事件が当初の学校側の説明とは異なり、全治12週の患者が出るほど深刻な水準だったことが確認された。特に暴行事件が今回が初めてではないうえに、生活館舎監室にホッケースティックを備え付けるなど日常的に暴力が発生した状況も捉えられた。スポーツ暴力の死角地帯として残っている韓国体育大(以下、韓体大)生活館に

対する対策が必要だという声が出ている。

1日、〈ハンギョレ〉取材を総合すれば、5月25日、韓国体育大学重量挙げ部助教であり男子生活館の舎監である崔某コーチは夜10時頃、生活館2階の廊下に重量挙げ部の学生19人を集合させた後、1時間以上にわたり気合入れをするなど苛酷行為をした。崔コーチは悪口とともにホッケースティックで生徒6人の頭、首の後ろ、腕に打ち下ろすなど暴行も加えた。

この暴行で、ある生徒は脳震盪を起こし身体の一部に麻痺が生じるなど、全治12週間の負傷を負った。崔コーチは当時、酒に酔った状態だった。彼はこの過程で学生たちに「私があなたたちの運動をさせないこともありうる」と怒鳴りつけたりもした。先立って〈ハンギョレ〉はソウル松坡警察署が該当事件に対する告訴状を受け付け捜査に乗り出したと報道した経緯がある。

崔コーチの暴力は初めてではなかった。彼は2021年5月にも明け方に眠りを妨害したという理由で重量挙げ部の学生18～19人を廊下に呼び出し、3時間ほど肘を地面に触れさせたままうつ伏せになる姿勢を取らせた。2021年7月には男子生活館2階の部屋で学生1人をホッケースティックで数回殴った。暴行の度に使われたホッケースティックは、1階の舎監室に常時備えられていた。

生活館暴行事件を初めて報道した当時、チョ・ジュンヨン韓体大教務所長は該当事件について「良くないことが起きた」とし、「ホッケースティックを使ったとしても、ただ学生たちの士気を高める程度だった」と話した。また「生徒たちは今（学校に）出て運動も頑張っている」と説明した。しかし、学校側の説明とは異なり、2年間に数回の暴行・苛酷行為が起き、脳震とうで全治12週間の診断を受けた重傷者までいた。

これまで運動部の合宿所は「スポーツ暴力の温床」に挙げられてきた。このため小・中・高等学校は「学校体育振興法」により合宿所運営に各種の制限を受けるが、韓体大は大学であるため例外に属する。さらに韓体大スポーツ科学大学の体育学科と競技指導科の学生は「国立学校設置令」により在学中に生活館に入管し生活訓練を受けなければならない。生活館が事実上、運動部の合宿所と同じだ。大韓体育会の関係者は「現行の制度上では（韓体大を含む）大学内のスポーツ暴力は管理が難しい状況」と説明した。

生活訓練という表現からも分かるように、生活館入所は休息ではなく合宿を通じた成績向上に重点を置いている。特に生活館にはひたすら体育特技生だけがいるうえに、コーチと学生または先輩と後輩が訓練後にも一緒に生活しているため、訓練場の位階秩序が生活館まで続く。日常的な暴力が発生する可能性が高い閉鎖的な構造だ。スポーツ存在理由がすなわち「国威宣揚」だった1976年に作られた法が2022年の学生たちを依然として統制しているわけだ。

生活館の運営方式も問題だ。定員900人に達する韓体大生活館は現在、約800人近い学生が登録されている。生活館業務は舎監3人が引き受けて処理するが、専門舎監ではなく大学助教たちが引き受ける。生活管理の専門性が落ちるしかない。さらに生活館長-舎監-学生がすべて学内体育学科の人脈で絡まっており、問題が生じれば隠蔽につながる確率が高い。事実上、外部監視が行われない構造であるためだ。

今回の重量挙げ部暴行事件の時も、韓国体育大学は国民体育振興法が明示した「暴行なのか直ちに申告しなければならぬ」という義務を破り、学生・保護者側に告訴取り下げを要求し、事件隠蔽を試みたという批判を受けた。韓体大は〈ハンギョレ〉の報道が出た後、スポーツ倫理センターに事件を申告した。韓体大生活館長は2021年2月からヨム某重量挙げ部指導教授が務めている。管理・監督義務がある館長、加害舎監、被害生徒全員が重量挙げ部所属だ。学生たちが受ける圧迫感が激しくならざるを得ない。実際、告訴に出た6人のうち5人は結局告訴を取り下げた。

韓体大の生活館で暴力問題が浮き彫りになったのは今回が初めてではない。2015年9月にはカヌー一部の学生が酒に酔って1年生の選手を2時間以上暴行し、大韓カヌー連盟から資格停止6ヶ月の懲戒を受けた。2018年3月には水泳部4年生3~4人が新入生と2年生など30人余りに床に頭打ちなど常習的苛酷行為をしたという暴露が出てきた。

2019年には国家人権委員会の調査結果、韓体大陸上部1~3学年の学生たちが4学年の主将と助教の強要で生活館清掃・洗濯をやらされ苛酷行為にあった事実が明らかになった。2020年にも韓体大ハンドボール部の新入生が生活館で先輩たちに何度も殴られ、強制的にストッキングを履いたまま他の部屋を歩き回るなどいじめられたと主張した。

国家人権委員会は2020年、韓体大生活館内で学生たちの携帯電話をかけたたり髪の毛の長さまで制限するなど広範囲な人権侵害が起き、指導教授・助教が該当事実を知りながら黙認・放置したり、むしろ直接そのような行動を指示したりもしたと指摘した。名前を明らかにしたくないある韓体大体育学科の学生は「私たちも立派な成人なのに帰宅や外泊さえ自由ではないほど圧迫が激しい」と打ち明けた。

専門家らは合宿文化の改善の必要性を強調した。中央大学の許ジョンフン教授（体育学・体育市民連帯共同代表）は、「過去はメダルを取るため、一緒に食べて寝て生活する場所として（生活観を）規定したが、今は変化が必要だ。選手たちに選択の機会を与えなければならない。法改正などが必要とみられる」と指摘した。ハム・ウンジュ文化連帯執行委員は、「運動部の学生たちを運動部に追い込むのではなく、開放しなければならない。一般学生と一緒に生活し、体育特技生も寮生活の有無を自由に選択できるようにしなければならない」と話した。

出典：[https://www.hani.co.kr/arti/society/society\\_general/1053078.html](https://www.hani.co.kr/arti/society/society_general/1053078.html)

### 03 スポティービーニュース 2022.07.30

#### 「崔スクヒョン事件」2年… 遺族「体育界の弊害と依然として戦っています」



「(崔)スクヒョンが去ってから2年が経った。スクヒョンの遺産が忘れられないように努力をたくさん傾けた時間だった。社会的にも多くの変化が起きた。にもかかわらず、(体育界は)まだ変わっていないようだ。問題が大きくならないことを願って、同じ場にいる人同士が手加減するやり方で仕事の処理をしているのではないかと思う。”

トライアスロン国家代表出身の崔スクヒョンは2020年6月「その人たちの罪を明らかにして欲しい」を最後のメッセージとして自ら人生を後にした。

体育界の弊害を死によって告発した。高校2年生の時、太極マークをつけるほど有望株だった彼女は、2017年から約2年間、前所属チームの監督と先輩から苛酷行為にあった。暴言や暴行、いじめなどに苦しみ続けた。

大韓トライアスロン協会は崔スクヒョンが亡くなって1ヶ月後の2020年7月、核心加害者2人を永久除名した。司法府も鉄鎚を下した。最高裁は昨年11月、監督に懲役7年、先輩のチャン某氏に懲役4年を言い渡して原審を確定した。

昨年2月には国民体育振興法（崔スクヒョン法）が改正施行された。体育界の人権保護を骨子とした同法は、加害者制裁レベルの強化と標準契約書の導入、スポーツ倫理センター機能の伸張などを盛り込み、第2の崔スクヒョン防止に力点を置いた。

故崔スクヒョンの母方の叔父リュ・ジョンミン（49）氏はスポティビービュースとのインタビューで、「少し不十分なところがあるのではないか残念だ。もっと努力しなければならない部門はどこだろうか、気持ちが複雑だ」と打ち明けた。

ボート国家代表出身で1994年広島アジア大会に参加し、体育界の閉鎖的な文化を直接経験した彼は、現在も体育界の弊害と立ち向かって戦っていた。

次はリュ・ジョンミンさんとの一問一答。

・崔スクヒョン選手が去って2年になった。その間、いかがお過ごしだったでしょうか。

「崔ヒョンが亡くなって一年間は本当に忙しく、そして大変だった。（その後一年は）スクヒョンの遺産が忘れ去られないように、それなりに努力を傾けた時間だった。この期間、大韓体育会やさまざまな体育団体が多くの変化を見せてくれた。ただ、少しは不十分な部門もあるのではないか、（残念な）感じを持っている」

・昨年11月、最高裁判所の判決が出た。暴言暴行を加えた監督と主将にそれぞれ懲役7年、4年が確定したが…。

「スクヒョンが去ったところに判決は何の意味もないと思う。（ただ）それでも量刑が少し弱いのではないかと思う。その人たちがスクヒョンにした行動を考慮すれば特にそうだ。」

「もちろん色々な理由があり裁判所もその点を考慮して決定されただろうが、遺族の立場で、そして周辺でも量刑が少し低いのではないかと思う。率直に言って残念だ。」

・崔スクヒョン選手の残念なニュース以後、体育界内外で人権意識と制度面で多くの変化が起きた。一連の変化をどう思うのか。

「私は専門家ではないが、横から見ても確実に社会変化が多くなされているようだ。（スポーツ倫理センターなど）団体も多く作られた。ただ、該当団体で多くの事案をすっきり解決できないようで、少し残念だ。調査もたくさんして活動もたくさんされているようだが、結果物は少し残念ではないかと思う。」

・約1年前から「釜山ボート協会の不正疑惑」を提起されていると聞きましたが。

「私はボート国家代表出身だ。釜山でスポーツを始め、子供たちも釜山でスポーツをし、今も現役でプレーしている。釜山ボート協会の組織私物化が深刻だ。選手、指導者、父兄の皆が不満を提起しているにもかかわらず、釜山ボート協会と大韓ボート協会は（身内）かばいの形で済まそうとしている。犯罪事実が警察捜査で証明されたにもかかわらず、依然として手をこまねいているのだ。」

・もう少し具体的におっしゃっていただけますか。

「釜山ボート協会を例に挙げれば、ある大学チームの監督を任用する過程で、3人の志願者のうち、誰が見てもスペックや指導力の劣る志願者（当時の協会役員の子供）を合格させ、採用不正疑惑を増幅させた。ある高校指導者を採用する過程では、派閥によって特定指導者任用を阻み正当に合格したにもかかわらず、その志願者が任用を放棄するようにした。会計処理もなれ合いだ。協会内の指導者が知らない短期労働契約書を作って偽署名を捺印し、（不透明な予算を執行して）手当てを送金した後、再び返してもらい金額の半分を再送金するなど、ミスとは言えない不正会計疑惑もある。この他にも資格基本法違反、講師料横領など問題が多様だ。（該当疑惑に接した）昨年5月、釜山警察庁に告発状を入れており、現在捜査

中だ。このように不正腐敗で退いた人がまだ数年前の国政壟断のように後ろで釜山ボート協会を牛耳って組織私物化を図っている。」

・八百長の情況もつかんだと聞きましたが。

「管内奨学金をもらうために息子の成績記録原簿を取ったことがある。妻が注意深く見て「成績が少し違うように書かれているようだ」と言った。1位になったが、2位に記録されているということだ。子供に聞いたら「先生がこのように乗れとおっしゃった。その時はどういう意味なのか分からなかった」と話した。びっくりするしかなかった。」

「息子が中学の選手だった時だ。A選手とB(息子)がいたが、試合前日にコーチが息子にAの番号をつけて乗れと言ったのだ。当時、息子はAより技量をはるかに優れていた。結局、選手登録と違ってAの番号をつけて出場した息子が優勝した。当時、息子は表彰台の一番高いところに上がったが、賞状を確認したら2位だった。息子が賞状が変だと言うと、授賞式が終わった後、賞状だけ(1位に)変えた。ところが、後で確認してみると、試合実績記録はAが1位、息子が2位と記録されていた。」

「道徳的に、スポーツ倫理的に問題が深刻な事案だと考えた。そのため、大韓ボート協会を含め、さまざまな団体に苦情を寄せた。しかし、中央協会からは問題を大きくしないように、「身内かばい」式の答弁があった。この事件の公取委の手続きもきちんとできているのか疑問だ。今も持続的に問題提起をしている状況だ。」

・一部の体育界は依然変わっていないとお感じのようですが

「そうだ。まだ変わっていないようだ。過ちがあれば、明確にその過ちが何なのかを探し出し、それを是正するのが体育団体がしなければならないことだが…。実際にはそうではない。ただ問題が大きくなりなことを願って、同じ場にいる人同士が手加減するやり方で仕事の処理をしているのではないかと思う。」

・市民や政府、体育界などに伝えたい言葉は？

「スクヒョンの2周忌が先月開かれた。暑い中でも来てくださった方々に本当に感謝の言葉を伝えたい。大韓トライアスロン協会からも来ていただき、友人、同僚の方々も一緒に黙祷してくださった。(共に)志を称えてくださったことに、この場を借りて本当に感謝する」。

「ただし1周忌の時と比べて直接参加して哀悼して下さる方々の数が少し減った。「だんだん忘れられるだろう」と当然考えている。(同じ事件が再発せず)忘れられたなら、また忘れなければならないという考えも持っている。しかし、率直な心境では社会とスポーツ人、その他多くのリーダーの方々の心の中に(スクヒョンが)少し早く忘れられているのではないかという残念さがある。それでもスクヒョンの事件が残したメッセージだけは忘れないでほしい。」

出典：<https://www.spotvnews.co.kr/news/articleView.html?idxno=539999>

## 04 中央日報 2022.07.31

### 近代五種、女子部の世代交代の希望が明らかに…世界選手権団体戦



女子近代五種国家代表チームが世界選手権大会で史上初めて団体戦銀メダルを獲得し、トップクラスの技量が認証された。

キム・ソンウ（京畿道庁）、ソン・スンミン（大邱広域市庁）、チャン・ハウン（京畿体育高校）の女子近代五種代表チーム3人は31日（韓国時間）、エジプトのアレクサンドリアで開かれた2022国際近代五種連盟（UIPM）世界選手権大会女子団体戦でフェンシング、水泳、乗馬、レーザーラン（陸上+射撃）の成績合計で3987

点を記録、英国（4161点）に続き銀メダルを獲得した。

女子代表チームが世界選手権団体戦でメダルを獲得したのは韓国近代五種史上初めてだ。特に韓国選手団に高校生のチャン・ハウンと今年大邱体育高校を卒業したソン・スンミンが含まれ、今後の記録および順位向上の可能性が非常に高い。

出発はよくなかった。国際大会出場経験が足りないソン・スンミンとチャン・ハウンがフェンシングランキングラウンドでやや低調な成績を見せたためだ。しかし、その後、水泳、乗馬、レーザーランを経て急な順位向上を成し遂げ、有名な強豪チームを相次いで追い抜いた末、銀メダルを獲得した。

チョン・ウンテという傑出した人材が登場した男子部とは異なり、女子部は世代交代に困難を経験し、憂慮の視線を受けてきた。幸い、今大会を控えてソン・スンミンとチャン・ハウンという新鋭が目すべき技量向上を成し遂げ、期待感を高めた。既存のツートップの金セヒ（BNK貯蓄銀行）、金ソンウ（京畿道庁）とともに善意の競争体制を構築したという評価だ。

チェ・ウンジョン近代五種代表監督は「ソン・スンミンとチャン・ハウンは国家代表に抜擢され、乗馬を始めて数カ月で世界選手権決勝戦に名を連ねたのに続き、団体戦のメダルまで獲得した」とし「急成長ぶりを見せる両選手の今後の活躍を期待している」と話した。

一方、男子個人戦では期待していた金メダルは出なかった。決勝に進出したチョン・ウンテ（光州広域市庁）とチョン・ジンファ（LH）が並んで17位と14位で、表彰台に上がれないまま大会を終えた。

チョン・ウンテとキム・ソンウは今大会最後の種目である混成リレーに出場し、メダル獲得に挑戦する予定だ。

出典：<https://www.joongang.co.kr/article/25090993>

## 05 京畿日報 2022.07.28

### 学校の運動選手たち、猛暑に見舞われた全国大会で「夏休みは絵に描いた餅」



連日猛暑特報が全国を覆っている中で、猛暑の全国大会出場によってスポーツ有望株が運動場に追い込まれている。体育界は全国単位の大会成績で進学を決める入試制度を全面改編しなければならないという声だ。

28日、京畿道内の学校運動部の指導者たちと保護者たちによると、学生運動選手たちが相次ぐ各種全国大会出場によって酷使されている。これは

「出席認定欠席許容日数」に適用されない夏休み期間中に全国大会が集中しており進路のためにやむを得ず大会出場を強行しているためだ。

特に、この3年間、新型コロナウイルス感染症の拡散防止の余波で国内・外の体育大会が相次いで取り消しになり、大会成績が不足している学生選手が多くなり、2019年文化体育観光部傘下のスポーツ革新委員会で学習権保障次元で制定した平日大会・訓練参加許容日数(既存の小学校10日、中学校15日、高校30日)が今年の小学校0日、中学校10日、高校20日まで大幅に減少し圧迫として作用しているという説明だ。実際、種目団体別大会日程を調べれば陸上の場合、教保生命カップ(7月)、文化体育観光部長官旗(7月)、中・高会長杯(7月)、秋季中・高大会(8月)など全国大会が1~2週間間隔で続いている。

テニスも大統領旗(7月)、大韓テニス協会会長杯(7月)、小康杯(7月)、学生選手権大会(8月)などが相次いで開かれている。体重管理が伴うレスリングの場合も大統領旗(7月)に続き、文体部長官旗(8月)が予定されており、状況は同じだ。その他にも射撃、ボーリングなど室内種目も休みシーズン開始とともに文化体育観光部長官旗大会が一斉に開かれることを合図に各種大会が相次いでいる。

ある学校運動部の指導者は、「夏場に集まっている全国大会の日程を全て消化するのがぎりぎりだ。指導者の立場から選手たちの体力を配分し、大会を調節して出場させたいが、学期中には出席が認められないため、休み期間に最大限多くの試合を消化しなければならない」とし「また、この3年間、各種大会が相次いで取り消され、大会成績がギリギリの選手たちが以前より多くなり、無理だと知りながら大会出場を強行しているのが実情」と吐露した。

保護者のチェ・ソンジュさん(42)は、「大会の準備に息子が体力的に苦しむ姿を見ると、心が痛む。特に夏には体重調節が難しく、さらに苦しんでいる」とし、「選手として入試に絶対的な影響を及ぼす全国大会の成績を諦めることはできない。学習権保障も重要だが、選手たちの安全を考慮した入試制度や教育方針が用意されなければならない」と話した。

出典：<https://www.kyeonggi.com/article/20220728580106>

## 06 週刊スポーツニュース

朴智星「高校のサッカー選手がすべての授業を受けるべきか」

<https://www.fnnews.com/news/202207312322191694>

光州広域市南区、生活体育「メガスポーツタウン」で拍車

<http://www.sportsseoul.com/news/read/1147394?ref=naver>

洪川郡障害者国民体育センター開館…プール・水中治療室構築

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20220801129800062?input=1195m>

大田体育会、学生選手リハビリ訓練集中支援に乗り出す

<http://www.chungnamilbo.co.kr/news/articleView.html?idxno=672572>

「小中高の子供たちの体育時間を守るために」大韓体育会「学校体育フォーラム」熱かった現場

<https://sports.chosun.com/news/ntype.htm?id=202208020100006980000232&servicedate=20220801>



女子セパタクロで世界選手権金1・銅1個獲得

<http://www.kyeongin.com/main/view.php?key=20220801010000101>

京畿道体育会、「2022年度ランデーツアー」事業施行

<https://www.kyeonggi.com/article/20220731580167>

釜山体育実技授業力量強化職務研修など

[https://newsis.com/view/?id=NISX20220729\\_0001960867&cID=10811&pID=10800](https://newsis.com/view/?id=NISX20220729_0001960867&cID=10811&pID=10800)

体育館に鳴り響いたファンの歓声、韓国バレーボール人気確認

<http://osen.mt.co.kr/article/G1111908711>

## 体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。

私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と  
福祉実現のために努力しています。  
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための  
体育市民連帯活動に強固な土台となります。  
体育市民連帯会員として力になろうと  
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

### INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳 : 佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー (資料室) <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>